

## 令和6年度 第1回福祉センター運営委員会会議録（要旨）

1. 日 時 令和6年6月28日（金）午後4時00分から午後5時15分
2. 場 所 村営やまなみ荘 瑞雲の間
3. 出席者 委 員：丸山 正（会長）、藤澤幸恵、望月典子、太田 譲、字引文威、  
松澤壽恵、宮川昌直、腰原 隆、藤原久紀  
村 : 村 長 藤澤泰彦、副村長 牛越宏通 所 長 中山茂也、  
副所長 甲本太郎、支配人 小坂部元、料理長 牛越 実

### 4. 協議事項

#### （1）令和5年度の運営状況について

※令和5年度の運営状況（事業実施内容、会計決算状況、利用者数等）について資料により説明

問：決算の状況で、たばこが収入支出ともに5百万円とあるがそんなに売れるのか。

答：窓口で販売しているが、コロナ禍になってから村や商工会などから発行される商品券によりまとめて購入される方が多くなってきた。夜も9時まで販売しているため、売上が増えている。

問：収入の内訳で食堂が非常に頑張っており、宴会も戻ってきているが、宿泊の伸びが低い要因は何か、また12月に支出が増えるのはなぜか。

答：宿泊については未だ団体行動を少し懸念されていると思われる。信州割り、GO TO トラベルなど割引のある宿泊に対して個人やご夫婦での行動が多かったことなどが考えられる。しかし影響も薄らぎ今年は夏の合宿等が入ってきている。また、8月、12月に支出が多い理由にはシーズン物の食材の仕入れなどが多いことが考えられる。また、12月は職員の賞与などの影響によるものと思われる。

問：企画やプランなど立案する時に目標や目安など指標はあるか。

答：食堂の企画は定番など売上目標を立てやすいが、宴会のプランはお客様の人数や金額などのご希望との兼ね合いがあり難しい。今年度は各プランの村外へ公告・宣伝に力を入れており効果が出てきている。

問：宿泊数が伸びても料理収入が減るのはなぜか。

答：宴会を主にやって、そのうち泊まる方が1泊2食でなく夕食のない1泊朝食の利用客の影響による。

問：宿泊者に大城・京ヶ倉の登山道への送迎について

答：コロナ前には実施した経過があるが現在は行っていない。今年度は送迎や昼食を用意したプランを計画している。

問：玄関正面のお花が萎れており、印象が悪いと感じた。

答：以後、徹底する。

(2) 令和6年度の運営について

※令和6年度の運営（事業内容、事業計画、5月末現在収入支出予算及び利用者数の状況）について資料により説明

問：収支の状況で、不足額が増えることが懸念されるがその対応について、また令和元年度と令和5年度の仲居の人数を教えてください。

答：このままの状況が続くと大幅な赤字が考えられるが、営業努力や広告等による情報発信を行うとともに、夏場に向けて予約も多くなっていることから弾みをつけていきたい。また身の回りでの経費の節約、節減に心がけていく。令和元年度の仲居は常勤者で3名、現時点では2名。

問：行動方針について大変良いが、令和6年度の年間行事計画は行動方針に沿って作られているのか。

答：行動方針は初年度という事もあるが、来年度以降の施設改修後のリニューアルオープンまでのステップを踏むための行動方針であり、年間計画は改修後にお客様の満足度が高いものは何か改めて探りながら進めていきたい。

問：やまなみ荘の改修について、照明やバイオマスストーブの整備などコンセプトを持って行ってほしい。

答：担当と調整し進める。

問：厨房の改修については現場の意見を聞いて進めてほしい、またバイオマスボイラーの経済効果や機材のメンテナンスについて十分留意して進めてほしい。

答：ご意見を参考に進めていく。

問：バイオマスストーブの設置について、見た目デザインやイメージなど雰囲気合うものを選んで欲しい。三ツ星減塩メニューのレパートリーを増やしてほしい。

答：今後検討する。

問：おやき作りに取り組んでいる大好き隊員の今後とおやきづくりの継続についてどのように考えるか。

答：大好き隊員とは月に1度、今後についてヒヤリングを行っている。隊員の希望を聞きながら調整しており、おやき作りについても日々技術を磨いているので、継続して生業としてほしいと考えるが、今後、調整しながら進めていきたい。